

総合計画市民検討協議会 第5回報告書

(文化・学習部会)

記録者	大沢 直樹	場所	市役所北庁舎第1～3会議室		
開催日時	平成24年4月7日(土) 午前9時30分～正午				
出席者 (10名)	安藤 晴子	小野澤 せつ子	齊藤 千穂	内藤 まり	
	松山 貴行	山内 啓司			
	國分 大樹	小柳 淳一	原田 賢	大沢 直樹	
傍聴者	1名 ()				

基本目標	Ⅲ 人と文化をはぐくむまちづくり (文化・学習)
基本施策	6 学校教育の充実

めざすまちの姿(平成33年のまちの姿)

- **あらゆる子どもが教育の機会を受けられます。**
 - ・ 障害の有無に係わらず平等に適切な教育を受けることができます。
- **学校・教員だけではなく、地域が協力して子どもを育て、教育します。**
 - ・ 行政が主導するのではなく、地域と学校がコミュニケーションを取り、地域の力を借りながら教育します。
 - ・ 地域のボランティアが子どもたちの基礎学力の向上を目指し、学校の特色を生かした教育に協力しています。
 - ・ インターンシップ等の力をより活用し、子どもに係わる人が増えています。
- **特色のある府中らしい教育が行われています。**
 - ・ 食育をより充実させ、地産地消を推進させる等、府中らしさを実感できる教育が行われています。

主な課題

1) 幼児教育の充実

- ・ めざすまちの姿である、だれもが適切に教育を受ける環境を整えるためには、発達障害児の受け入れ体制をより充実させる必要がある。市立幼稚園・私立幼稚園のそれぞれの役割を明確にし、私立幼稚園が受け入れきれない幼児の受け皿として、市立幼稚園の役割を充実させることが課題である。
- ・ 施策を充実させることは重要だが、それを目的とした他の自治体からの転入者が増え、現在の市民が幼児教育を受けられなくなるということが起こらないように工夫することが課題である。

2) 基礎学力の定着と学力の向上

- ・ 基礎学力の向上は、豊かな人生をおくる上で重要な要素であり、年齢に即した、より適切な教育方法を考えることが課題である。

3) 開かれた学校づくりの推進、教育・指導内容の充実

- ・学校・教員だけではなく、地域が積極的に協力して教育することが重要である。行政が細かなシステムを構築するのではなく、地域の方が自発的に学校とコミュニケーションを取り、教育に参加できる仕組みをつくるのが課題である。
- ・地域の経験豊かな高齢者の協力を得る等、地域の力を有効に活用できる環境を整えることが課題である。

4) 学校給食の充実、児童生徒の健康づくりの推進

- ・学校給食は栄養管理等の面で重要な役割を担っている。中には、夏休み期間等、学校給食がない期間に栄養が不足する児童生徒がいる。食事を含めた家庭での健康管理をどのように把握するかが課題である。

役割分担の考え方

【市民の役割】将来像の実現に向けて自分たち市民ができること、取り組むべきこと

1) 子どもを預けるだけという考え方をしない。

- ・幼稚園・学校に子どもを預けるというだけではなく、家庭教育の大切さを意識する。

2) 地域で子どもを育てるという意識をもつ。

- ・地域の力を合わせて教育をするという意識をもち、積極的に協力するように心がける。

【行政の役割】自分たちの取り組みを実現するために行政に支援してもらいたいこと、行政が行うべきこと

1) 地域と学校が協力しあえる環境を整える。

- ・行政が細かなシステムを作りあげるということではなく、地域の方と学校がコミュニケーションをとり、協力体制を作る手助けをする。

2) 市の裁量で行えること、府中市としてできることを積極的に行う。

- ・放課後子ども教室を充実させる、より充実したティームティーチングを呼びかける等、市が行えることをより積極的に行う。

3) DV・ネグレクト等に対する適切な対応を行う。

- ・家庭問題に係わることはプライバシーの問題等、難しい面もあるが、インターンの学生の力を借りるなど、子どもと係わる人を増やし、適切に発見、対応できるようにする。

その他 意見

- ・継続的な防災教育に力を入れてもらいたい。

事務局への連絡事項

特になし

総合計画市民検討協議会 第5回報告書

(文化・学習部会)

記録者	大沢 直樹	場所	市役所北庁舎第1～3会議室	
開催日時	平成24年4月7日(土) 午前9時30分～正午			
出席者 (10名)	安藤 晴子	小野澤 せつ子	齊藤 千穂	内藤 まり
	松山 貴行	山内 啓司		
	國分 大樹	小柳 淳一	原田 賢	大沢 直樹
傍聴者	1名 ()			

基本目標	Ⅲ 人と文化をはぐくむまちづくり (文化・学習)
基本施策	7 青少年の健全育成

めざすまちの姿(平成33年のまちの姿)

- 市民一人ひとりが地域の子育てを担っています。
 - ・地域の市民一人ひとりが「地域で育てる」という意識を持ち、声をかけあい、子どもの手本となるような生き方をしています。
- 地域が機能し、地域のコミュニケーションが充実しています。
 - ・地縁によるコミュニティが充実しており、近隣のコミュニケーションが円滑に行われています。地域の信頼関係が築かれているので、地域で青少年を育てるという環境が整っています。

主な課題

1) 青少年の居場所・役割づくり

- ・学校での部活動を充実させる等、行動範囲の広がる中学生等が留まる居場所づくりが課題である。
- ・地域に貢献できるものを見つけ、役割を与え、地域での居場所や、役割があるという自覚を持たせることが必要である。

2) なぜ問題行動を起こすのかという根本についての把握

- ・地域の環境浄化活動としてのパトロール等だけではなく、青少年がなぜ問題行動を起こすのかという根本の問題を把握し、対応することが課題である。

3) コミュニティの形成

- ・目的別のコミュニティだけではなく、地域のコミュニティを充実させることが課題である。地域のコミュニティを充実させ、大人同士が知り合うことで、地域で育てるという環境を整える必要がある。

役割分担の考え方

【市民の役割】将来像の実現に向けて自分たち市民ができること、取り組むべきこと

1) 学校での部活動の指導等に協力する。

- ・特色のある学校づくりを継続して行うためには、地域の協力が不可欠である。部活動の指導等、積極的に引き受けることが必要である。

2) 地域の子育ても大人同士のコミュニケーションから生まれるという意識をもつ。

- ・地域での子育て環境を整えるためには、信頼できる近所付き合いや、地域のコミュニティが充実していることが重要である。子どもから見られているという意識を持ち、自らが希望を持ち生きる姿を見せることが必要である。

【行政の役割】自分たちの取り組みを実現するために行政に支援してもらいたいこと、行政が行うべきこと

1) 地域の協力を求める。

- ・子どもの居場所として、充実した部活動を整えることは効果的である。部活動等の指導を充実させるためには、地域の協力が必要であり、地域の方が協力・参加しやすい環境を整えることや、青少年が興味を持つことに打ち込める場をつくる必要がある。

2) 青少年健全育成協力店の増加

- ・青少年健全育成店の増加は必要であるが、単に数を増やすのではなく、信頼できる店舗に協力を依頼する等、質の向上が必要である。

3) 効果的な広報活動、コミュニティの構築

- ・市報等で地域の子育てに協力を求める等、効果的な広報活動、アピールを行う必要がある。
- ・文化センターを効果的に利用する等、コミュニティに参加したくなるような仕組みをつくる必要がある。

その他 意見

- ・子ども会、学童クラブ単位で美術館に鑑賞に行く等の機会を充実させ、作品・作家と出会う機会を多くもつことが必要である。鑑賞等を通じて、心が震える場面を多くもつことで、人に対する信頼感を育てることにつながる。

事務局への連絡事項

特になし